

【参考】関西経済同友会 関西 MICE・IR 推進委員会のこれまでの活動

(1) IRに関する当会の基本認識

①これまでの活動

当委員会ではこれまで、MICE・IRの整備は、関西のみならずわが国全体の観光振興の起爆剤たる役割を担うものとして、2012年より調査・研究を実施。翌年3月には提言を発表した。また2015年1月には、「大阪・関西らしいスマートIRシティ」に関するコンセプト並びにギャンブル依存症対策に関する提言を行い、都市デザインや夢洲へのアクセス、事業スキームの考え方などについて言及した。あわせて、ギャンブル依存症対策についても同時に提言した。

2015年度の活動では、コンセプトの提言をより具体化させるべく活動を実施。2016年3月には、大阪府・大阪市が16年度に、IR等に関する調査予算が早期に執行されることを後押しするため、IR開業に伴う関西への経済波及効果をまとめ発表した。

②当会が考えるIRの必要性

《IRの必要性》・・・大阪・関西全体の経済成長エンジン

- 国際競争力のある滞在型観光の実現、関西独自の文化の発信と創造
- 新産業の創出、ならびに関西が強みを持つ産業のさらなる発展に貢献
- IR収益によるMICE機能の拡充
- 地域への経済効果～年間7,600億円の経済効果と98,000人の雇用創出～(後述)
- 「サービス産業の高度化」と「税負担無き公共政策」に寄与する新たなまちづくり(100%民間)

《大阪・関西の強み》・・・アジアの「ゲートウェイ」として

- 関西の人口(約2,000万人)と経済規模(約80兆円に及ぶ域内総生産)
- 関西国際空港とアジアの各拠点とのネットワーク
- 京都・神戸・奈良など100km圏内に産業が集積し歴史・文化遺産も存在

《夢洲の強み》・・・壮大なスケールによる世界的な競争力

- 190haにも及ぶ未利用地の存在(東京ディズニーリゾートの約2倍の面積)
- 地権者が大阪市のみ、かつ地価が東京に比べて安価であることから事業採算性を後押し
- USJや海遊館などの観光資源が近隣に存在。かつ、居住空間から隔離された空間

(2) MICE・IRに関する2015年以降の発表

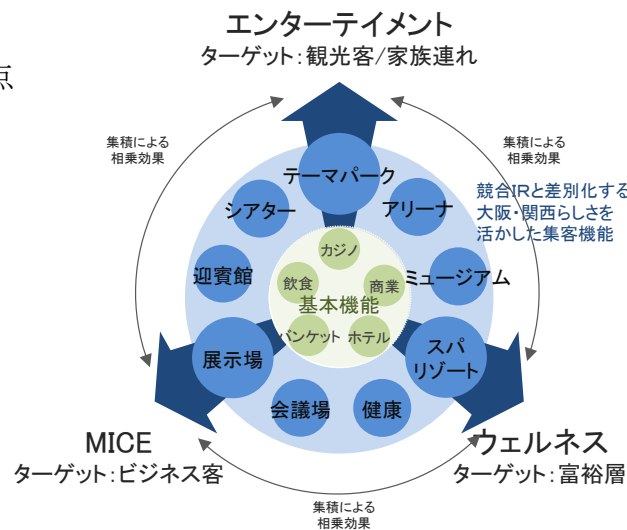
①「大阪・関西らしい世界初のスマートIRシティ」の実現に向けてーコンセプトの提言ー(2015年1月)

【提言1：都市機能】・・・Multi Entertainment

- ①ターゲットの異なる複数テーマ
→子供からシニアまで三世代で楽しめる集客拠点
- ②関西独自の文化、最先端技術を活かす
→世界各都市のIRと差別化
- ③集客機能集積
→カジノの収益で世界最高水準のスケールとクオリティを確保

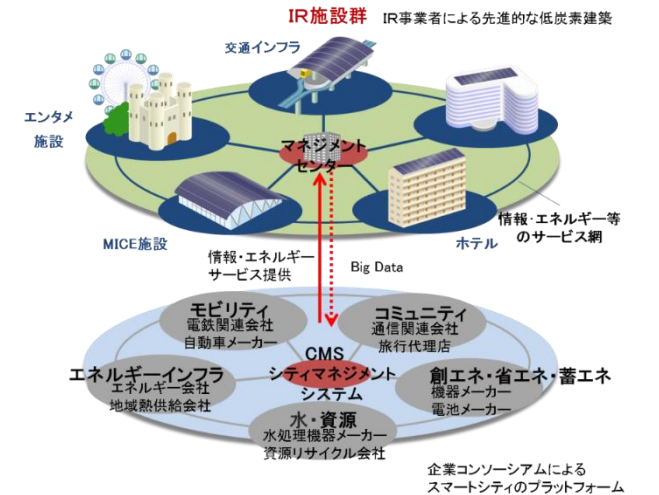
【提言2：都市デザイン】・・・Symbol Lagoon

- ①水都大阪の新たなシンボル都市を創出
- ②エリア全体を複数のクラスターで構成
→段階的な開発に対応
- ③人にやさしい交通手段を導入



【提言3：インフラ】・・・Smart City

- ①世界最高水準のスマートシティを実現
- ②まちを開発・運営するプラットフォームとなる関西の環境・ICT関連企業コンソーシアムを設立
- ③世界最高水準の防災都市を構築

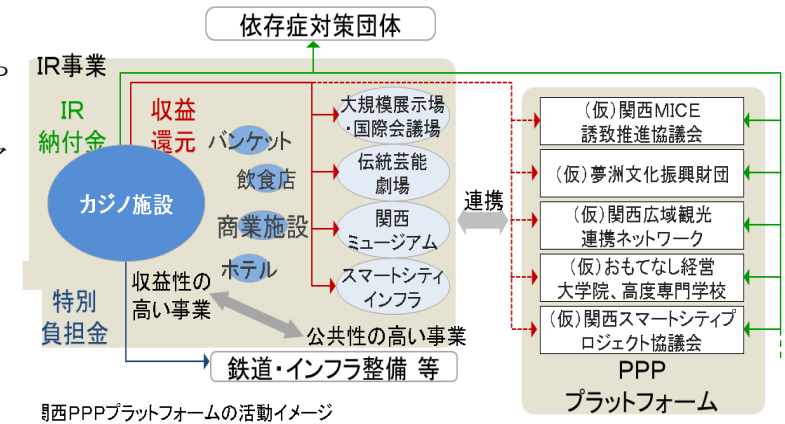


【提言4：アクセス】・・・Direct Access

- ①空港や新大阪と夢洲を直結し、アクセス性を向上
例：夢洲と舞洲を結ぶ新夢洲大橋の開通/夢咲トンネル(躯体整備済)への地下鉄の延伸 など
- ②既存観光資源との回遊性強化
- ③魅力的デザインの乗り物導入で、移動そのものをアトラクション化

【提言5：事業スキーム】・・・All Kansai Project

- ①日本企業が主体的に関与する事業スキーム
- ②カジノ収益を還元する仕組みづくりにより、文化や経済を振興
- ③官民連携で関西発のコンテンツ(文化・観光・スマートシティ等)を育成・発信する組織を設立(関西PPPプラットフォームの構築)



【提言6：スケジュール】・・・Target Year 2020

- ①2020年を開業目標とし、訪日客を関西に誘因
- ②IR早期開業に向け、官民が役割分担

②「『大阪・関西らしいスマートIRシティ』で採用すべきギャンブル依存症対策」(2015年1月)

- 【対策1】自己排除プログラムの導入(カジノへの入場を自らの意志で禁止出来る制度)
- 【対策2】家族申告による排除プログラムの導入(本人だけでなく家族からの申告によりカジノに入場出来なくする)
- 【対策3】入場料の徴収(カジノ入場者に対して徴収し、のめりこまないようにするための防止措置)
- 【対策4】ギャンブル依存症対策費はIR運営企業が拠出を(ResponsibuleGamingに基づきカジノ収益の1%程度を徴収)
- 【対策5】日本版ギャンブル依存症対策審議会(依存症対策を審議し、対策を講じる機関・審議会の設置)
- 【対策6】ギャンブル依存症対策に関する継続の実施を(長期的、継続的に実施し、有効な施策立案へ)
- 【対策7】カウンセリング・治療体制の充実を(公営ギャンブルやパチンコ等も含めた治療体制・研究機関の設置を)

③大阪・関西IRの経済効果の試算について

(2016年3月)

| | |
|----------------------|----------|
| IR事業者の年間収入(テナント分を除く) | 5,545億円 |
| 投資額 | 7,759億円 |
| IR投資 | 6,759億円 |
| インフラ基盤 | 1,000億円 |
| 関西への経済効果 | |
| 開業前の経済効果(累積) | 14,711億円 |
| 開業前の雇用創出効果(累積) | 93,114人 |
| 開業後の経済効果(毎年) | 7,596億円 |
| 開業後の雇用創出効果 | 97,672人 |



～IRにより水都大阪の新たなシンボル都市を創出～(2015年1月提言)